# 金兼倉



鎌倉市市民活動センター広報紙 第105号 令和5年冬号(季刊)

発行/編集:鎌倉市市民活動センター https://npo-kamakura.com/

# リレートーク No.24



鎌倉竹部 (かまくらたけぶ) 樋口純子



スマホでのアクセス はこちらから



リレートークとは:鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思います。 是非、お知らせください。

# こんなで民活動しています!

# 目指すは持続可能な竹林整備と"半竹半X"な暮らし!

竹林整備をしていて、切り出した後の竹の行き場がないことが課題でした。楽しく、しかも設備などがなくても、例えば女性1人でも、手軽に竹を活用する方法を見出せれば自然と竹林整備に人が集まる仕組みができると感じ、竹細工に行き着きました。そこで、千葉から全国に竹細工の活動を広められている房総竹部さんの門をたたき、鎌倉での竹細工の活動が2021年2月スタートしました。



定期活動としては、月に2回竹林整備から始まる 竹細工の活動を行っています。竹は整備を必要とする 植物なので、適切に整備しながら、切り出した竹材を竹細工に活用してい ます。また、成長サイクルの早い竹を活用する意義とその楽しさを広める ために『竹切りからはじめる竹細工スタート講座』を春秋に開催して新し い仲間を募っています。他にも、神奈川県内でイベントに出店したり、竹 を使った空間演出を行い、地域の竹をその地域で生かす "竹の地産地消 "を促進する活動も行なっています。

鎌倉竹部に入ったきっかけは人それぞれですが、竹林整備と竹細工がセットとなった活動の本質に賛同される方が多く、仲間と山に入り、竹と戯れる時間が生まれたことで暮らしが豊かになった!楽しみが増えた!との声をいただきます。「生涯の暮らしの仲間が見つかった」という方も。

また、この活動を持続可能なものとするために"労働世代も時間を使える仕組み=生業化"を目指しています。生業化にあたっては、メンバーそれぞれの個性、スキルが存分に発揮された状態で、竹を通じて提供できる価値を最大限に引き出し、地域の竹をその地域に還元していきたいと考えています。

竹の活用方法は、アイデアと技術次第で無限にあると感じています。ご 縁あり私たちの活動と接点を頂いた皆さまに最適な形で 竹を通じたコミュニケーションをご提案したいと考えています。 結果として、鎌倉がアイデア溢れた竹活用の町になれば

いいなと思います。



11月に開催した市民活動フェスティバルin MUJIcom鎌倉では、鎌倉竹部さんに「竹のクリスマスツリー」を制作協力いただきました。ウィンドウ越しにきらめくツリーにうっとり!素敵な演出をありがとうございました。

# 第24回 かまくら市民活動フェスティバル レポート



- 11/21(月)~27(日) in MUJIcom鎌倉 (ホテルメトロポリタン鎌倉1階)
- 12/3(土) in 鎌倉中央公園
- 12/10(土)・11(日) in きらら鎌倉

NPOセンター史上初、3会場に分散して開催した「第24回かまくら市民活動フェスティバル」は皆様のご協力をいただき、無事終了いたしました。場所を変え、内容や趣向も変え、対象年齢も変え、という新たな挑戦でした

知らない世界の話を聞いたり、平和について考えたり、食について真面目に考えたり、海藻を餌にしたおいしいポークを食してその誕生秘話を聴いたり、屋外で大人も子どもも一緒になって身体を動かしたり、ダンスを見たり、市民活動をしている団体同士でつながったり…地域とつながるコツを教わったり。。。。

あらためて「NPOセンターの役割」を見つめ直し、今回、フェスティバルの多様化を試みましたが、いかがだったでしょうか。多くの方にご来場いただきましたが、そこから色々な輪が広がることのお手伝いができたとしたら、何よりです。

そして様々な形でご協力、応援いただいた方々に心より感謝いたします。

(かまくら市民活動フェスティバル実行委員会)

# 11/21-27 MUJIcomホテルメトロポリタン鎌倉



NPOセンターを知っていますか?



SDG s フォトコンテスト市民賞は?





あなたの理想のまち鎌倉を描いてみよう



球温海深ホーク 水産・福祉・畜産の3つの連携



SDG s 関連図書の展示



平和について語り合うワークショップ



竹のクリスマスツリーが素敵でした!



谷戸の恵み



ダンス!ダンス!



森deガイドウォ



タグラグビーから学ぶチームづくり



石川安彦さん♥

## 12/10-11 きらら鎌倉





SDG s フォトコンテスト表彰式



団体パネル展での交流



おはなし会



リアス・アーク美術館所蔵 東日本大震災現場写真展

# シリーズ「町内会」町内会は「超イイ会!」

地域の組織作りの基盤、町内自治会への加入率が下がる傾向が 続く一方で、災害時など地縁のつながりの強化も求められてい ます。そんな中、先駆的な試みに取り組んでいらっしゃる町内 会をご紹介します。

# 净明寺町内会



地引網の様子(坂ノ下)

コロナの影響で当町内会の活動も様変わりし、毎月の役員会はすべて オンライン会議にし、ほぼ回覧板に頼っていた町内会員への情報伝達 は電子回覧板、LINEグループなども併用するようにして不十分ながら 町内のコミュニケーションを絶やさない努力を続けました。そのよう な中で今年度は活動の再開を模索し、感染拡大に十分配慮しながら、 夏祭り、盆踊り、地引網、ハロウィン、防災の集い&芋煮会を開催す ることができました。活動を「あきらめる」から「なんとかしてや る」という方向に皆の気持ちが切り替わった時、知恵と工夫が生まれ ました。災い転じて福となす。コロナという状況を通じて、地域のレ ジリエンスというか町内会の地力が上がったような気がします。

(浄明寺町内会防災担当 西畑直樹)

**シリーズ「社会課題」** 複雑な現代の社会課題をひもとき、各分野の専門の方々に解説をしていただく コーナーです。今回のテーマは「スマートシティ」です。鎌倉市政策創造課スマートシティ担当松村さん に寄稿していただきました。

■「スマートシティ」って知ってますか?

インターネットで検索してみると、「テクノロジーを活用して地域が抱える課題を解決する持続可能なまち」などの説明が出てきます。では、なぜテクノロジーを活用して持続可能なまちにしていく必要があるのでしょうか?

それは、少子高齢化による働き手不足や、大規模 災害の頻発、新型コロナウイルスの流行などによ り、これまでの生活が維持できなくなってきてい るからなんです。**テクノロジーは、この生活の維 持をサポートしてくれる存在なんです!** *2.2*   $\rightarrow \rightarrow$ 

さて、このスマートシティ、鎌倉では市民の方の"声"を大切にしていきます。実は既に、市民の皆さんと一緒に鎌倉のまちのみらいについて考え始めています。ここでは2つの取組をご紹介します。



鎌倉市政策創造課 スマートシティ担当 松村さん

# ①スマホで意見、言えるんです!

皆さんはこれまで「まちづくり」に参加してみようと思ったことがありますか?

参加機会としては、市民対話や説明会などがありましたが、会場に足を運ぶことに「なんか面倒だなあ」と思われていた方は多いのではないでしょうか?そこで、「オンラインで簡単に意見を投稿できるプラットフォーム」の導入を試験的に開始しています。現在、「西鎌倉地域の移動」について、スマートフォンやパソコンから24時間簡単に意見を投稿できますので、一緒に持続可能なまちについて考えてみませんか?





(意見を言いたい、 他の人の意見を見てみたい という方はこちらから)

# ②「あったらいいな」は創れるんです!

3 Dプリンタって、テレビの中の世界だと思っていませんか? 3 Dプリンタやレーザーカッターなどの機器や技術のことを「ファブ(Fab)」といいます。なんと、鎌倉市はこのファブを活用したまちづくりを進める「FabCity宣言」を日本の自治体で唯一宣言しているまちなんです。世界ではパリやバルセロナなども宣言しているんですよ。さらに鎌倉市はFabの研究所であるFabLab(ファブラボ)という施設があります。ここでは「欲しいんだけど売ってないんだよね~」といったグッズや部品などを自分たちで作ることができるんです。身近なあったらいいな!を一緒に作ってみませんか?





(FabLabについて もっと知りたい! という方はこちらから)



より多くの市民の皆さんと「鎌倉の未来」について共に考え、 共に創っていきたいと思っています。 ぜひ、積極的なご参加をお待ちしています!

鎌倉市政策創造課スマートシティ担当 松村 隆介

「かまくらパートナーズ」105号 発行日:2023年1月

N P Oセンター鎌倉〒248-0012鎌倉市御成町18-10鎌倉市役所 第2分庁舎TEL/FAX: 0467-60-4555N P Oセンター大船〒247-0061鎌倉市台1-2-25 (たまなわ交流センター1階) TEL/FAX: 0467-42-0345

# NPOセンター 新規登録団体のご紹介(9月~12月)

#### 大船学びの駅伝プロジェクト

2020年、Nekton大船のコワーキングスペースでつながった様々な経歴を持ったメンバーの団体です。「まなび」のたすきで人をツナグ・地域をツナグそんなプロジェクトを大船でスタート。キッズを対象に、実験教室、プログラミング道場、電子工作系のワークショップなどを開催。子どもに沢山の先人と触れ合うための場を提供し、経験や学びを次世代につなぐ事を目的に活動します。

https://www.ekidenproject.jp/

### ユニパーサル絵本ライブラリ— UniLeaf

点字を、人をつなぎ、思いを共有できるものに!見える子と見えない子が一緒に使える、英国発祥のユニバーサルデザイン絵本を日本初導入。現在蔵書1,200冊、毎月35の家庭や学校に定期貸出。高校授業や大学、市民、企業で製作講座も開催しています。

https://unileaf.org

#### クリスタルボウルを聴く会

クリスタルボウルなど倍音を多く含む楽器の音色を聞くと、脳波が $\alpha$ 波や $\theta$ 波などの深くリラックスした状態となります。不安や争う心から解放され、穏やかで平和な心の時間を確保する。そのような人が増え、穏やかさが伝播することによる平和社会の実現を目指し活動しています。

https://alche-one.com/kikukai/

## すずめの会

「最後まで自宅で」を実現するために外出支援の 方法を模索しています。道路運送法により、一般 車両での運搬業務は禁止されており、運行には公 共交通機関や行政機関との協議会等の設立など 様々な準備が必要です。ひとつひとつ必要なこと を積み上げながら、平行して、実際に日々高齢化 の進む町の中で、安全な輸送方法を確保するには どうしたらよいか?知恵を出し合いながら取り組 んでいます。

#### 西鎌倉あいあいの会

夏まつりやハロウィン、和凧づくりや凧揚げ大会、防災・減災教室などの開催に当たって、円滑に運営できるよう、協力するためのプラットフォームの役割を担っています。西鎌倉住宅地に暮らす住民や活動団体の応援団です。

#### 聞き書きボランティアの会 あしあと

人にはそれぞれ、その人だけの大切な物語があります。「聞き書き」とは、あなたからこれまでの人生の歩みや思い、「話したいお話」等を聴かせていただき、それをあなたの「話し言葉」で書き、ひとつの小さな冊子として残すことです。私たち聞ききボランティアが作成した冊子が、ご自身の人生を優しく振り返る機会になりますことを願っています。

#### Harmony For Peace Japan

"ひとつとなった声がひとつの世界を創る"~One Voice..One World~をテーマに活動を行っております。心で繋がるコミュニティ、地域住民で助け支え合うコミュニティの参加促進を目指し、「思いやりの心」「優しさの心」「平和な心」の素晴らしさを、音楽やアートを通じて皆さまに届けたい想いです。https://hfpeaceiapan.com/

#### みんなで鎌倉平和デー

私たちの心が「平和」であり続けること。何よりも、私たち自身が「平和」な表現を続けていく事でそこから「平和」の循環が生まれていく事を願っています。毎年5月に平和パレード、夏には展示会やワークショップを開催しています。様々な個人や団体が各々の想う「平和」をアピールする場にしたいと思っています。音楽から平和を、芸術から平和を、手仕事から平和を、環境を平和に。そんなことなのです。

https://www4.hp-ez.com/hp/peace-kamakura/

# 事務局から



■ 「市民活動経理のキホン」を1月21日(土)10:00~12:00に開催します。 直接、税理士さんのお話を聞く良いチャンスです!個別相談もあり。



- 1月26日 (木) 10:00-11:30にNPOセンターに登録されている団体の交流の場「利登録団体お話会」を開催します。テーマは「夏休み高校生ボランティアについて語る」です。 NPOセンター鎌倉にて。奮ってご参加ください!
- 2月26日(日) 14:00~16:00に企業・NPO・大学・市民のためのパートナーシップミーティングin鎌倉を開催します。テーマは「地域とつながるためのレシピⅡ」協働のもととなる連携・協力・場づくりのためのワークショップに参加してみませんか?会場はレトロな魅力あふれる大町会館です!

※詳しくはチラシまたはホームページをご参照ください。

NPOセンター鎌倉 〒248-0012

鎌倉市御成町18-10 鎌倉市役所 第2分庁舎 TEL/FAX: 0467-60-4555 E-mail: npo@chive.ocn.ne.jp 〒247-0061 鎌倉市台1-2-25 (たまなわ交流センター1階) TEL/FAX: 0467-42-0345 E-mail: npo2@abelia.ocn.ne.jp

NPOセンター大船

登録団体数:336団体

令和4年12月28日現在

※ 登録団体の登録内容 (連絡先・代表者・活動内容等) に変更があった場合は、 速やかにお知らせください。